

広
報

ちくしの

50th
ちくしのし
ANNIVERSARY

あなたがもっている「人権」は

他の人から大切にまでもってもらえます

あなたも他の人がもっている「人権」を

大切にまでもってあげなければなりません

「人権」は、みんなでももり育てるものです

しかし

残念なことに「人権」がまもられていないことがあります

いじめや暴力、インターネットでの悪口

生まれた所や住んでいる所だけの決めつけ

障がいがあることでの差別

まもられていないことは他にもたくさんあります

今、世界では

戦争や紛争で、暮らしや命までも奪われています

平和があるから「人権」はまもられます

「人権」を大切にすることは 命を大切にすること

「人権」を大切にすることは 違いを認めること

「人権」を大切にすることは いろんな人とつながること

「人権」を大切にすることは

ちよつとやさしく ちよつとあつたかくなれること



- 新型コロナからの学び2
- 私らしくあなたらしく3
- 小さな攻撃性(マイクロアグレッション)4
- 無意識の思い込み(アンコンシャスバイアス)5
- インターネットトラブルからみんなを守るために6
- 自分も周りの人も思いやる情報モラル7

新型コロナウイルスからの学び

今年の夏、私は新型コロナウイルス感染症にかかってしまいました。



体調が悪いのはもちろんのこと、周りの自分のことをどう思っているのかが気になり…



不安や緊張を抱え込んでいたのですが…

友人や同僚たちから励ましのメールがどんどん届き…



病気が治って職場に戻ると、たくさんの笑顔に迎えられました。



少し前までは、新型コロナウイルスのせいで、人と人とのつながりが切れていたように思いますが…



私は今回、新型コロナウイルスにかかったことで、人のあたたかさを感じることができました。



そして、不必要に周りを気にしていた自分にも気づくことができました。

私はこれから、自分がしてもらってうれしかったことを、周りの人たちにしていきたいと考えています。



新型コロナウイルス感染症に関しては、まだ分からないことも多く、不安や恐怖から人と人との関係性が壊れてしまつ状況があります。

一方で、人と人とのつながりの大切さを再認識する機会も増えたように感じます。

学校や職場、地域の中から人と人とのつながりを大事にし、お互いの人権が尊重され、みんなが安心して過ごすことができる社会をつくっていきましょう。

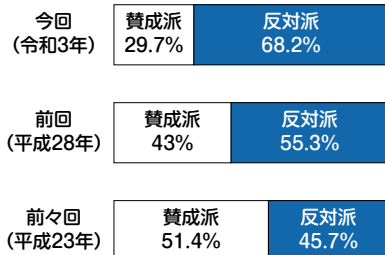
私らしくあなたらしく

先日、私は市のホームページで、「筑紫野市男女共同参画市民意識調査報告書」を見ました。



この調査の中には、「『男は仕事、女は家庭を守るべき』という考え方に同感するか?」という質問項目があり、若い年代を中心に反対派の人が調査のたびに増加していることが分かりました。

【問い】
「男は仕事、女は家庭を守るべき」という考え方に同感するか?



私は、その理由を筑紫野市にたずねてみました。



すると、担当の方から次の答えが返ってきました。

理由の一つとして考えられるのが『教育』です。性別によって役割を決められるおかしさや、協力することの大切さを学校で学習することが、今回の調査結果につながっていると思います。



この説明を聞きながら、私は、自分の子どもが楽しそうに皿洗いをする姿を思い出しました。



そして、学びが行動につながっていることを理解しました。

一方で私は、自分が子どもだった頃を思い出しました。



「女の子だから家事はできたほうがいい」と私に言う母…寝転んでテレビを見ているだけの兄…

もし、あの頃から学習する機会があれば、私たちの考え方も変わっていたかもしれない。



それぞれの性別に関係なく活動を自由に選択できる社会は、誰もが自分らしく生きることのできる社会だと思います。

私はそんな社会の実現のために、まず家庭を見つめ行動に移していきたいと考えています。



小さな攻撃性（マイクロアグレッション）

ぼくの名前はボブ。日本で生まれ、ずっと日本で生活しています。



だから、ぼくは日本語しかしゃべれないのですが、話をすると必ずこう言われてしまいます。

日本語が本当に上手だね。



褒めてくれるのはうれしいのですが、ぼくはこの言葉が好きではありません。



それはこの言葉の中に、「日本人じゃないのに」という意味があるからです。



だからこの言葉を聞く度に、ぼくは見えない壁を感じ、悲しい気持ちになってしまいます。

昔、このことを仲よしの友だちに伝えたら、「考えすぎだ」とりあつてもくれませんでした。



だから、それからずっと気にしないようにしてきましたが、ぼくは先日、「マイクロアグレッション」のことを知りました。

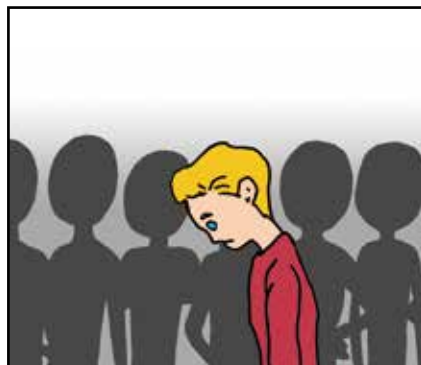


小さな攻撃性（マイクロアグレッション）とは

社会の※少数者（マイノリティ）に対して向けられる偏見や思い込みが、ささいに見える言動として表れたもの。ささいな言動が積み重なることで、少数者を深く傷つけることになります。

※障がい者、高齢者、女性、セクシャルマイノリティ、人種や民族が違う人々

少数者への思い込みによるささいな言動：その小さな攻撃の積み重ねが、ぼくを追い込んでいることを初めて理解しました。



だから、ぼくは今、「マイクロアグレッション」のことを、もっとたくさんの人に知ってもらえたら、お互いに分かり合えるのと思っています。



無意識の思い込み (アンコンシャスバイアス)

どんな人の話が想像してみよう！

私は保育士をしています。
パートナーは長距離運転
手をしています。
家事・育児は、私がほぼ一人で行っ
ていて毎日つらくて困っています。



右の内容から、話し手をお母さん(女
性)だと思った人はいませんか？実は、
この話し手はお父さん(男性)でした。
「保育士」女性が就く仕事、
「長距離運転手」男性が就く仕事、
「家事・育児」母親の役割」などと、
私たちは無意識に思い込んでいること
があります。

このような「無意識の思
い込み」のことを「アンコ
ンシャスバイアス」と言い、
私たちの日常にたくさんあ
ふれているんです！



無意識の思い込みは、誰にでもあります。
しかし、人の「言動」は「思考」がもと
になっているため、「思い込みが自分
にある」ということに気づかずにいる
と、無自覚のうちに相手を傷つけてし
まうことがあります。



過去の経験・知識・情報・価値観など

思考

無意識の思い込み
(アンコンシャスバイアス)



言動

小さな攻撃
(マイクロアグレッション)

多様性を尊重し合うために

無意識の思い込みは、なかなか気づ
きにくいものです。だからこそ、学習
会や対話を通して、さまざまな考えや
価値観に触れる機会を大切にしましょ
う。まずは自分の中に潜む思い込みや
偏見に「気づく」ことが、多様性を尊
重し合う社会づくりの第一歩です。

無意識の思い込みって
自分にもあるんだ！
気づかなかった！



「普通」や「当たり前」は
人によって違うわよね！
学ぶことで、自分を見直
すきっかけになるわね！



今まで、勝手に
決めつけたりしていた
かもしれないな...



そうじゃない人だって、
たくさんいるよね！
自分の感覚を問いただす
ことも必要だね！



インターネットトラブルからみんなを守るために

インターネットを使うときこんなことをしていませんか？

- ☐ 匿名だから何を書き込んでもいいと思いませんか？
- ☐ 本当かどうかわからない情報を拡散していませんか？
- ☐ 知り合いの住所や連絡先を無断で書き込んでいませんか？
- ☐ 友だちと撮影した写真を無断で載せていませんか？

チェック
してみよう！

インターネットに書き込んだ情報はあなたや相手の心を傷つけ、犯罪にまで発展する恐れもあります。



匿名で悪口を書かれたり、ネット上で仲間外れにされたりして、学校に行くことが怖くなった。



事実と異なる情報が拡散され、同級生からクラスで無視されたり、悪口を言われたりした。

急にたくさん迷惑メールがくるようになり、学校に相談したら同級生がメールアドレスや氏名などの個人情報を書き込んでいた。



友だちの写真を載せたら、写真の背景から住んでいる地域や家の場所が特定され、知らない人からストーカー被害にあった。



「自分の言動で傷つく人はいないかな？」と心に問いかけて行動することができていますか？インターネット上だけに限らず、人の気持ちを想像できなかった言動は自分や相手の笑顔を奪う危険性があります。だからこそみんなを想う心を忘れずに、誰もが安心して笑顔で生活を送れるための行動をしていきましょう。



自分も周りの人も思いやる情報モラル

～筑紫野市情報モラル教育ガイドライン～



筑紫野市では小中学校9ヶ年間で、情報を正しく安全に扱える子どもを育てています。

違法な行為は何かを理解する

違法とわかった行動は絶対に行わない

決まりを守る
人の作ったものを
大切に使う



小学校低学年



中学年



高学年



中学生

SNSトラブルの対処法（3つのステップ）

STEP 1 まずは立ち止まる!あわてない、あせらない…

STEP 2 自分は何をしてもらいたいのかを考え

STEP 3 信頼できる人に相談する!



SNSトラブルに直面したら、この3つのステップを忘れずに対処しましょう。

福岡県児童生徒のための ネットトラブル相談窓口

(C) 2021 福岡県青少年育成課, All Rights reserved.



電話相談

0120-494-100

【受付】月曜日～金曜日 午後6時～午後9時
祝日、12/29～1/3除く



小中学校では一人1台のタブレット端末が貸し出されています。*SNSはとても便利で子どもたちの生活の一部になりつつあります。

しかし、情報は間違った扱い方をすると、人を一生に渡って傷つけたり、犯罪に巻き込んだりします。また、その逆に自分自身も被害者になる可能性もあります。

子どもたちを加害者にも被害者にもしないために、情報モラルを身につけ、自分のことだけでなく周りの人も思いやる子どもを育てたいものです。

そのためには、保護者の方の理解と信頼がとても重要となります。情報を正しく安全に扱うためのルールなど十分に子どもたちと話をする必要があります。

また、地域の方たちからは、常日頃からの見守りと声かけがやはり重要となります。子どもたちをSNSの怖さから守るために是非ご理解とご協力をお願いします。

※ソーシャルネットワーキング・サービスはWeb上で社会的ネットワークを構築可能にするサービスのこと。
代表的なものに、Line Facebook Twitter Instagram Youtube などがある。



広報ちくしの「人権問題特集号」 12月アンケート用紙

(当てはまるものに○をつけて下さい。)

①「人権問題特集号」は…

- ☐ よかった
☐ まあよかった
☐ あまりよくなかった
☐ よくなかった

②心に残った内容は…

- ☐ 「新型コロナからの学び」
☐ 「私らしくあなたらしく」
☐ 「小さな攻撃性（マイクロアグレッション）」
☐ 「無意識の思い込み（アンコンシャスバイアス）」
☐ 「インターネットトラブルからみんなを守るために」
☐ 「自分も周りの人も思いやる情報モラル」

③感想をお聞かせ下さい。

人権問題特集号 アンケートのお願い

「人権問題特集号」は、市民の皆さんに人権問題について知って考えていただく大切な材料になると考えています。

つきましては、市民の皆様には是非読んでいただき、よろしかったら感想等を届けていただきますようお願いいたします。今後の編集に活かしていきたいと思っておりますので、趣旨をご理解のうえご協力を重ねてお願いいたします。

※アンケート回答の方法

- ①FAX:上のアンケート用紙に記入のうえ以下の番号にFAX下さい。
→筑紫野市教育政策課人権・同和教育担当：(092)923-9644
- ②郵 送:上のアンケート用紙に記入のうえ以下の住所にご送付下さい。(12月26日まで)
→筑紫野市教育政策課人権・同和教育担当：
〒818-8686 筑紫野市石崎一丁目1番1号
- ③メール:k-kyoumu@city.chikushino.fukuoka.jp
- ④筑紫野市ホームページ：

以下の手順で「広報ちくしの 人権問題特集号」に入ってください感想をお寄せ下さい。
「くらし・手続き」→「人権・男女平等 人権」→啓発冊子「広報ちくしの 人権問題特集号」
※携帯電話・スマートフォン等で読み取るとアンケートページにつながります。



編集後記

12月4日から10日は人権週間です。今年はウクライナで「最大の人権侵害である」と言われる悲惨な戦争が起こり、今、この時も続いていることが報道されています。

一方、新しい人権についての捉え方も出てきました。本紙にも載せています「小さな攻撃性(マイクロアグレッション)」「無意識の思い込み(アンコンシャスバイアス)」などです。

改めて、市の「自分が人からされたり、言われたりしていやなこととは、自分は人にしない、言わない」という人権尊重のまちづくりスローガンの意味を日常の中でもしっかり意識したいと思います。

2022年12月1日発行

広報ちくしの「人権問題特集号」

■編集発行

筑紫野市
筑紫野市教育委員会
筑紫野市同和教育研究会
筑紫野市同和問題啓発資料編集委員会

■問い合わせ先

筑紫野市教育委員会教育政策課
TEL: (092) 923-1111

■印刷 久野印刷株式会社